

日立電線が大リストラ発表

労働者犠牲の業績回復は許されない

不採算事業撤退・生産拠点の集約、国内人員1割以上削減

日立電線は9月9日、不採算事業からの撤退や国内人員1割以上の12000人削減などを柱とする大規模リストラを発表しました。

日立電線は、「2009年3月期に経営環境の急激な悪化により業績が落ち込んで以降、赤字決算が続いている。この状況に対応するために、新たな事業構造改革施策を追加した新中期経営計画を策定した。この計画に基づき、事業の「選択と集中」並びに事業体制の再編施策を進めるとともに、スリム化する国内事業の規模にあわせて人員の適正化を図ることとした」と説明しています。

今回の新たな事業構

不採算事業の撤退・縮小

光海底ケーブル	・事業撤退完了(11年9月)
通信ケーブル	・日立地区に生産拠点集約(~12年3月末)
銅管	・国内銅管事業撤退(~12年3月末)
パッケージ材料	・事業体制縮小(~12年3月末)

国内人員 1,200人削減	・早期退職の実施:650人
	・社外出向、転籍:約200人
	・定年退職/派遣社員の削減ほか:約350人

従業員数見通し(非正規社員、派遣社員等含む)

	2011年6月期末	2012年3月期末	増減
国内	9,100	7,900	△1,200
海外	9,000	9,400	400
合計	18,100	17,300	△800

造改革では、国内人員を減らす一方で、海外は増やすとしており、グローバル化の加速による目先の利益第一経営の徹底と取れます。一連の構造改革で、年間100億円のコスト削減を見込むとしています。

職場では、「リーマンショック時も大リストラしたのに、またか」「国内を減らして海外を増やすのは納得できない」「優秀な

職場と労働組合が団結してリストラ反対のたたかいを

社員が見切りをつけて辞める」「わずかに残っている派遣社員をまた切るのか」「転職支援と言っても、今時、仕事などない」などの声があがっています。

業績悪化の度に、労働者

「希望退職」・転籍強要はねかえす4カ条

はねかえす4カ条

- 1、「私はこの会社に残ります」この一言があなたと家族の生活を守るたしかかな力です。転籍(移籍)とは、いまの会社を解雇されることですから、法律は「本人の同意」を厳格に決めています。
- 2、それでも会社は、「同意」を迫ってくるでしょう。その時は、「これ以上の説得や面談はやめてください」ときっぱり。
- 3、この「警告」を無視して、「同意」するまで面談をやる。「応じなければ職場はない」などと迫れば違法です。「労働基準監督署か弁護士に相談します」とレッドカードをだしましょう。
- 4、そうはいっても、「後でどうなるかが心配だ」と悩んでいる方も多いでしょう。悩んでいるのはみんな同じです。職場の間と相談しましょう。日立懇も応援します。

を犠牲にて目先の業績回復を図ることは許されません。今回のリストラについては、労働組合と協議済みとされていますが、国内社員1割削減は職場の存続にも関わりません。会社の身勝手なリストラに団結して反対の声をあげましょう。労働組合には、職場と労働者を守るたた

かいが求められます。



日立懇 <発行>2011年11月号 <日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

★連絡先(茨城)090-8747-6239(馬場)

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net

AE。パワーは職場の不安に応えよ

合併解消に向けて基本合意が発表され、従業員は各出資会社か関連会社に受け入れられることとなります。職場からは色々な不安の声が、「千葉に帰っても仕事場がないのでどうなるのか不安」、「日立の子会社に移っても将来に希望が持てるのか不安」、「渡り歩くたびに労働条件が悪くなりほしくないか」、「派遣で仕事をしていくのが先がどうなるのか不安」、「情報が無いのが一番不安、会社も組合も情報を開示して不安を解消するようにしてほしい」。

社長は、社報で「立つ鳥跡を濁さずで、有終の美を飾ろう」と呼びかけていますが、業績だけでなく従業員の生活を守ることが本当の有終の美となることを肝に銘じてほしいものです。



駐輪場復活嬉しい!!

震災で被害を受け使用できなくなっていた桜川門・平岡脇の駐輪場が復活しました。車の駐車場の一部を駐輪コーナーに使っていたので復活はとても嬉しいのですが、まだ屋根がありません。利用者からは「安価で短期に設置できるスチールパイプのシール張りでも良いのでは」との声もあります。やっぱりバイク・自転車など愛車を大切にしたいので雨に濡らしたくないですね。(国分)

HIワーカー者が残業一番少ないのは何故?

組合発行の機関紙「おおみか」No.978によると、大みか地区組合員の昨年の残業時間月平均は、直接員38・75(09年度30・2)、一般者31・6(29・85)、

HIワーカー者30・35(34・0)となっています。HIワーカー(裁量勤務)者が一番残業時間が少なく、しかも昨年比で減少しています。HIワーカー者といえ、設計や開発部門などの30歳前後の技師クラスで一番多忙な人たちです。「作業量に見合った人員配置を」という要求が多い職場で、HIワーカー者が一般者(部下)より残業時間が少ないのは腑に落ちません。出張が多いのか、それとも残業時間を除外しているのか。組合は、数値の実体をよく見る必要があるのではないのでしょうか。(大みか)

トイレ直して!

開閉装置・製造部のトイレを利用しましたが、鼻を突く異臭で気持ち悪くなりました。毎日ここを利用されている方は我慢強いと感心させられます。プレハブ脇の仮設トイレのほうがまだましようです。お客さんを始めた皆さんの方が利用するものです。早急に何

とかしてほしいと思います。(AE。パワー)

労働組合の共済金が給付される

3月11日の東日本大震災で自宅の瓦や外壁のモルタル・風呂のタイル・内壁などが壊れた。日立労組に共済制度があり申請したら、5万円の共済金が給付され、さらに電機連合の共済からも5万円が出た。修理の足しになり、ありがたい。(国分)

「電機・情報ユニオン」結成される



電機や情報サービス産業の職場で働く350万人の労働者が個人で入れる全国的な労働組合「電機・情報ユニオン」が9月18日、結成されました。労働者の切実な要求に心を寄せ、厳しい労働条件に置かれている労働者の要求実現をめざします。電機・情報ユニオンは労働相談も受け付けています。解雇、退職強要、パワハラ、セクハラ、差別など、一人で悩まず、ご相談ください。相談は無料です。

本部: 東京都港区三田3-2-20

TEL 03-3455-6006(本部)

TEL 090-5547-9418(茨城支部・大内)

「電機懇」2012年春闘要求アンケートにご協力を

日立懇は「電機懇生活改善要求アンケート」に今年も取り組みます。誰でも参加できるアンケートです。ぜひ、あなたの声を、お寄せください。